

# 梅若会定式能

能鉄

輪

三吉  
徹子



令和六年六月十六日(日)・午後一時開演(正午開場)  
会場 梅若能楽学院会館 / 自由席 七、〇〇〇円

能絃

上

松山 隆之

角当 直隆

土田 英貴

梅若 景英



狂言

文山賊

野村

万作

野村

遼太



文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))  
| 独立行政法人 日本芸術文化振興会

<https://umewaka.org>

村瀬 慧  
柿原 光博  
大山 容子  
姥浦 理紗  
八反田 智子

間 石田 幸雄

後見 山崎 友正  
梅若長 左衛門  
地謡 井上 須美子  
野崎 美歩  
伶以 野陽子  
井上 貴美子  
高橋 鈴木  
富田 栄子  
山崎 雅子  
庸子 裕子

狂言

文  
山  
賊

野村 万作  
野村 遼太

仕舞

龍鐘頼白  
ノ 楽  
虎段政天

角当 行雄  
松山 隆雄  
梅若 紀彰  
川山中 晃  
山崎 友正  
鷹尾 雄紀  
鷹尾 章弘  
小田切 康陽  
地謡 山崎 友正

《休憩十五分予定》

能  
絃

角当 直隆  
土田 英真  
梅若 景英  
松山 隆之

館田 善博

龜井 洋佑  
大倉源次郎  
藤田 貴寛  
大川 典良

間 飯田 豪

後見 山中 迺晶  
小田切 康陽

地謡 鷹尾 雄紀  
小田切 亮磨  
内藤 幸雄  
川口 晃平  
鷹尾 章弘  
松山 隆雄  
梅若長 左衛門  
山崎 正道



- <JR線>
・総武線・東中野駅西口 徒歩8分
- <地下鉄>
・大江戸線 東中野駅 A3出口
・大江戸線 中野坂上駅 A2・2出口
・丸の内線 中野坂上駅 A2・2出口
いずれも徒歩8分
- <バス>
①関東バス (宿05: 中野駅経由)
新宿西口→野方行 宮下交差点下車
②関東バス (宿05: 中野駅経由)
野方→新宿西口行 東中野2丁目下車
③京王バス (渋64: 中野坂上経由)
渋谷→中野駅南口行 宮下交差点下車
④京王バス (渋64: 中野坂上経由)
中野南口→渋谷行 東中野2丁目下車
- \*当会館は駐車場はございません。
ご来場の際は電車、バス等をご利用下さい。
- 東京都中野区東中野 2-6-14
(公財) 梅若会
(梅若能楽学院会館)
TEL: 03-3363-7748
FAX: 03-3363-7749

『鉄輪』〜かなわ〜貴船神社の社人が夢の御神託を告げるため、丑の刻詣の女を待つと、夫に捨てられた恨みを持つ都女が現れる。社人は都女に赤い着物で顔に丹を塗り、頭上の鉄輪に付けた蠟燭を灯せば生きながら鬼となり、恨みを晴らせると御神託を告げた。都女は恨み事は無いと答えるが、その形相は鬼へと変貌していく。都女を捨てた夫は悪夢に悩み祈禱師・安倍晴明を訪ねると、悪夢は女の恨みによるもので命が危ないと告げられ祈禱を始める。すると悪鬼の姿の都女の生霊が現れ、祭壇の女の人形を激しく打ち据え、さらに夫に責めめるが守護神に追払われ生霊は呪いの言葉を残し姿を消す。

『絃上』〜けんじょう〜琵琶奥儀を極める為、渡唐を志す藤原師長が須磨の浦で塩汲みの老夫婦に宿を借りる。師長は老夫婦の所望で琵琶を奏でるが、降り始めた村雨の音を屋根に苦を葺き、雨音の調子を整える老夫婦の姿に関心し、逆に一曲所望する。すると老人は見事な琵琶の音を奏で師長は己の未熟さを悟る。老人は琵琶の名器の一つ絃上の主、村上天皇の霊で実は師長の渡唐を止める為に現れたと告げ姿を消す。やがて在りし日の村上天皇が現れ、龍神に持参させた琵琶の名器、獅子丸を師長に授ける。天皇が秘曲を奏で、舞を舞い、天へと戻ると、師長は帰洛の途につく。

【観能チケットとお願い】

- ◆自由席 7,000円・正面指定料別途 1,000円 (指定のご希望は公演1週間前までお申し込み下さい)
- ◆チケットは梅若会 HP からメールまたは電話、ファクスにて郵便番号、ご住所、お名前、ご連絡先電話番号、ご希望席種をお書きの上お申し込み下さい。(https://umewaka.org/ TEL 03-3363-7748 (不定休)・FAX 03-3363-7749)
- ◆都合により出演者、曲目に変更がある場合がございます。
- ◆当日のクローケ (荷物お預かり) は閉鎖させていただきます。
- ◆梅若会の感染予防対策の取り組み内容  
当能楽堂内は株式会社松美様のご協力により、光触媒 (抗菌) コーティング加工済みですので安心してご観能下さい。
- ◆観能に際してのお願い  
主催者の許可のない公演中の写真撮影、録音等は著作権、肖像権等の侵害および他のお客様のご迷惑になりますので固くお断り致します。(開演前、休憩中のみ舞台の撮影は可能です。)
- ◆主催: 公益財団法人 梅若会

